

①学校名:	東北 大学(国立)	②所在地:	宮城県仙台市青葉区片平2-1-1		
③課程名:	地域イノベーションアドバイザー塾 (RIAS):アドバンスコース	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2016/9/3
⑥責任者:	地域イノベーション研究センター長 藤本 雅彦	⑦定員:	30名	⑧期間:	3ヶ月
⑨申請する課程 の目的・概要:	<p>地域経済の発展には、新たな事業イノベーションに挑戦し優れた事業戦略を実践する、地域経済を牽引するリーディング企業の存在が不可欠である。このような地域企業の成長のためには、事業イノベーションの知識やスキルをもち、地域企業に伴走支援を行う地域金融機関などが重要な役割を担う。</p> <p>地域イノベーションアドバイザー塾(RIAS)アドバンスコースでは、こうした地域金融機関等の職員を対象としており、組織と人材のマネジメントや、DXや知財の活用などの実践的なマネジメントに関する知識やスキルを習得するとともに、事業者の経営課題解決を中心とする支援力を涵養することを目的としている。支援先の事業者が企画する新事業計画について様々な視点から課題解決を提案し、実現可能な新事業計画を支援する機会を提供している。</p> <p>このような事業に対する課題解決提案等の実践を踏まえて、本コースを修了した「地域イノベーションアドバイザー」が、地域企業の革新的な新事業計画の実現を支援することを期待している。</p>				
⑩10テーマへの 該当の有無	中小企業活性化	⑪履修資格:	<p>以下の各号の条件をすべて満たす者とする。</p> <p>①高等学校を卒業している者。ただし、地域イノベーション研究センターにおいて高校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認めた場合も履修可能とする。</p> <p>②地域の金融機関、公的支援機関および市制を敷く地方自治体の職員等で、機関から派遣される者(原則として入社5年目以降の者)。</p> <p>③地域イノベーションアドバイザー塾(ベーシックコース)を修了した者。</p>		
⑫対象とする職 業の種類:	地域の金融機関、公的支援機関および市制を敷く地方自治体の職員等				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 組織を運営するための具体的なマネジメントの知識		(得られる能力) 革新的な事業計画に対する事業性評価力、 事業者への課題解決提案などの支援力、組 織と人材のマネジメント、DXや知財の活用		
⑭教育課程:	<p>①入塾式・入塾研修:(2時間) 地域イノベーションプロデューサー塾(RIPS)生の事業計画に対し支援実習を行う際のポイントと、支援実習レポートの作成要領等についての研修を受ける。</p> <p>②講義:毎週火曜日夜2.5時間×8回(20時間) 革新的な事業を展開し成果を創出するために欠かせない組織のマネジメント等に関する知識として、リクルーティング、若手社員の人材育成、またAIや知財の活用などについて、講義とディスカッションを通じて学習する。</p> <p>③事業計画実習:隔週土曜日 4時間×1回、6時間×6回(40時間) RIPS生の新事業構想の問題点や課題を洗い出し、それに対する課題解決提案を行う。</p> <p>④成果発表会・卒塾式:土曜日終日(6時間) 支援実習の実績および支援実習を行った企業への支援内容についてのプレゼンテーションを行う。</p>				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	<p>以下の「出席要件」と「卒塾レポートと成果発表の要件」を全て満たすことが、修了要件である。</p> <p>出席要件</p> <p>①火曜日の夜間に開講される8回のオンライン講義に出席(または録画視聴)して、ミニットペーパー(コメントシート)を提出すること。</p> <p>②隔週土曜の「事業計画実習」(全7回)に4回以上出席すること。</p> <p>卒塾レポートと成果発表の要件</p> <p>①卒塾レポート(支援実習実績一覧)を提出すること。</p> <p>②成果発表会で支援実習実績を発表すること。</p>				

⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、東北大学オープンバッジ						
⑰総授業時数:	68	時間	⑱要件該当授業時数:	54	該当要件 双方向、実務家	⑲要件該当授業時数／総授業時数:	79%
⑳成績評価の方法:	プログラムの管理運営を行う「地域イノベーションプロデューサー塾/地域イノベーションアドバイザー塾運営委員会」(以下、RIPS/RIAS運営委員会)の構成員等が、出席状況および実習で提出した支援実習レポートの評価基準(事業の課題抽出の適切さ、エビデンスに基づいた提案の適切さ、説明資料の内容の適切さ等)による総括的評価を行う。						
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。プログラム実施組織であるRIPS/RIAS運営委員会構成員で定常的に点検するとともに、東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議(企業・団体を含む委員で構成)を開催し、①カリキュラム編成、②人材育成(受講者満足度、学習到達度)、③プログラム運営の観点から、本プログラムの自己点検及び評価を実施する						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	受講期間中は、各講義および実習終了後にアンケート調査(コメントシートの提出)を実施し、プログラム修了時には卒業アンケート調査を行う。また、修了生には、OBアンケート調査等を行い、本塾での学びによる事業に対する支援力、目利き力等の変化について効果検証を行う。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。 (自己点検・評価) 東北地域イノベーション推進コンソーシアム会議を毎年開催し、本プログラムの実施・評価報告に基づいて、学外委員を含む各委員から意見聴取を行う。						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	夜間のオンライン講義、隔週土曜日の対面およびオンラインでの開講およびウェブサイトを活用した予習・復習システム						
㉕ホームページ:	(URL) https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/education/rias/						

事務担当者名:	垣見 徹征	所属部署:	東北大学 教育・学生支援部教務課 教育支援係
連絡先:	(電話番号) (E-mail)	022-795-3925 kyom-d@grp.tohoku.ac.jp	

* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。

* 様式に記載いただいた内容と欄外の「※集計用データ(文部科学省使用)」に記載の内容が、一致しているかを必ずご確認ください。